

## 2019年度第6回高知県言語聴覚士会理事会

日時 2019年11月6日(水) 19:00~20:30

場所 いずみの病院

出席 西田 石川 池 川上 小松 高野 谷本 中平 野田 森下 山本(光)山本(理)横島 吉村 若林 矢野(書記)

欠席 なし

### 【検討・報告事項】

#### 1. 教育部

- ・基礎講座(1回目);参加人数22名(内1名は県外)。参加費収入64,000円。協会へ報告済。
- ・基礎講座(2回目);2/9開催予定。9:30開始。場所はリハビリテーション専門職大学。講師は大崎会員(協会の役割と機構)、川上副会長(言語聴覚療法の動向)、吉村理事(研究法序論)。
- ・専門講座;3/1の県学会前9:00~11:00。
- ・基礎講座講師申請;今年は山本(理)理事を推薦する。

#### 2. 福利厚生部

- ・新年会;毎年参加者が少ない状況。昨年度も開催有無の議論をし、参加申し込みが少ない場合は実施しないこととし、結果実施しなかった。昨年も聞かれた案で、今年は学会の昼食時に立食形式で懇親会を実施し、新年会はなしとする。
- ・案内は学会の第2報と一緒にを行う。高知リハの食堂を借りる。

#### 3. 地域福祉部

- ・失語症向け意思疎通支援事業;県と話し合いを行った。助手・講師の人数削減や開催日を4日間連続にできないか、など意見があった。失語症の方の疲労度もあるので難しいかも、と協会からの返答を伝えている。
- ・失語症介助支援費を使用して失語症者を増やしても構わないとのこと。
- ・保険料は受講生だけでなく、全員の分をかけてほしいとの申し入れを受けてもらった。
- ・1月には財務からの決定が出る。3月の議会を待たずに連絡いただけてもらえることになった。
- ・半額は市または県が出すように努力する。
- ・利用者が失語症かを確認するための手段として、国は障害者手帳所持者としてほしいとの意向。確認に障害者手帳を使っていない県もあるため、どのようにしているかを確認する。
- ・県内の失語症者は市内65名、市外43名の登録があるとのこと。
- ・四国内の他県の動き;愛媛は県から法人でないと認められないとのこと法人化へ動いている。徳島は予算作成中。
- ・参加申し込みが20名に満たない場合、ST受講可。実習は免除。

#### 4. 高知県言語聴覚学会

- ・14演題の申込みあり。
- ・4群とし、座長2名体制にしてコメンテーター役も依頼する。

#### 5. その他報告事項

- ・都道府県士会会長会議報告
- ・巡回の勉強会を西地区でも行う。→承認。
- ・渉外部;ホームページレイアウトの見直し、求人募集など検討議題としたい。

次回 2019年12月4日(水) 19:00~ いずみの病院にて